

平成29年（2017年）3月23日

おはようございます。

一昨日（おととい）、東京で、沖縄を除いて全国一早く、桜の開花宣言がありました。

昨年度と今年度の入学式、つまり、今ここにいるみんなの入学式には、桜の花が満開になり、「古城の門」の前の桜の樹の下で記念写真を撮影するという、上田では10年に1度あるかないかの、めったにないことが2年続けて起きました。そういう意味では、ここにいるみんなは「持っている」のだと思いますが、今年の3月は少し寒いので、来年度の入学式はどうなるのだろうかと思っています。

生物の授業で習ったと思いますし、特に植物に興味のある人は知っていると思いますが、通常、木に花が咲き、落ちた時には、すでに次の年に花を咲かせる準備が始まっています。冬になる前の時点では、いつでも花を咲かせることができるように準備が整っていて、その状態で蕾は身を守りながら寒い冬を越す。これを「冬の芽」と書いて「とうが」と呼びます。いつでも花を咲かせることができる準備が出来ているから、冬に季節外れの暖かい日が続くと、春に咲くはずの花が、12月とか1月に咲いてしまい、それが時々ニュースになる、ということなのです。

植物は、毎年毎年同じになるようにプログラムが組み込まれていて、それが遺伝によって引き継がれていきます。

一方、人間はどうでしょうか。

中国の劉希夷（りゅうきい）という詩人（劉廷芝（りゅうていし）とも呼ばれますが）のとても古い詩に「年年歳歳 花相似 歳歳年年 人不同」（年年歳歳 花相似たり 歳歳年年 人同じからず）という、とても有名な一節があります。きっとみんなも聞いたことがあると思います。

「年年歳歳」も「歳歳年年」も同じ、「毎年毎年」という意味です。毎年毎年「花相似たり」、すなわち、花は同じように咲く。しかし、毎年毎年「人同じからず」、人は同じではない。と言うのです。

では、この「人は同じではない」とはどういう意味なのでしょう。いろいろな意味に解釈できると思いますが、この詩の前後関係や、この詩が「白頭を悲しむ翁に代わる（代わりて）」という題名であることからわかるように、この詩の中では、「人は年をとってしまうのだなあ」と言って悲しむ、情緒的な意味であることがわかります。

しかし、私は、この有名な一節は、この詩を離れば、違う意味にも解釈できるのではないかと考えています。

今年度の卒業式に 坂村真民（さかむらしんみん）という人の「念ずれば花ひらく」という詩の話をしました。

強い想いが強い行動に繋がり、そしてやがて花がひらくということを行ったのですが、それと同じように、「歳歳年年 人同じからず」という一節は、「同じ人であっても『毎年人は変わる』、あるいは『毎年人は変わることができる』という意味に解釈することはできないだろうかということです。「変わる」というのは、よい意味でも悪い意味でも、です。

植物には毎年繰り返されるプログラムがあって、それを繰り返す。

しかし人間は、自分の意志や強い想いで、同じことを繰り返さず、自分を変えることもできる。

そんな意味にとれないかということです。

と、話していて、やがて人間を超えてしまうのではないかとされている人工知能（AI）やロボットと人間との違いもここにあるのかもしれないと思います。もちろん、AIもロボットも、どんどん進化しますが、1つの個体同士を比べた場合に、そんなことが言えそうな気がします。

みんなに話したでしょうか。

「1.01の法則」というのがあります。今朝目覚めた時の自分を「1」として、その100分の1の0.01ずつ、今日から毎日、1年間成長し続けていったらどれくらいになるでしょうか。

$1.01 \times 1.01 \times 1.01 \times \dots$ を365回繰り返す、すなわち、1.01の365乗ですが、これがなんと「37」を超えるのです。今の自分の37倍になるということです。もちろん、これは数字上のことで、そもそも「100分の1ずつ毎日成長する」ということが一体どういうことかということもあるわけですが、いずれにしても、毎日続けることがとても大事で、しかも、すごい結果を生み出すということはわかってもらえると思います。

また、その逆で、「0.99の法則」というのがあります。同じように今朝の自分を1として、100分の1ずつ毎日失い、それを1年間続けたらどうなるか。 $0.99 \times 0.99 \times \dots$ を365回、0.99の365乗は、約「0.03」になってしまいます。100分の3の自分になってしまうということです。

人はどちらの可能性も持っているということであり、どちらになるかはすべて個々の人間

の意志と行動による、ということです。

新年度始業式まで、今日を入れて約2週間あります。「2週間もある」ととるか、「2週間しかない」ととるか、それも結構重要ですが、いずれにしても、この2週間が過ぎれば、また日常が戻ってきます。4月になり、授業のある日には、自分だけで自由にできない時間が増えます。しかし、この2週間は、もちろん自由にならない時間もあるでしょうが、授業がある日にはできないことをやることもできるでしょうし、メリハリをつけて自分で自分の時間をコントロールすることもかなりできる。そういう意味では、とても重要な期間です。

みんなは、入学してから1年、あるいは2年が経ちます。というか、経ってしまいます、と言った方がいいかもしれませんが、入学前の時点で自分が理想としていた高校生活、目指していた高校生活が実現できているでしょうか。考えた以上にできているという人はいいかもしれませんが、できていないという人は、何か改善をしないとイケないかもしれません。それには、この時期はとてもいい時期です。誰のものでもない、自分の人生であり、自分の高校生活です。「歳歳年年 人同じからず」。このまま流されてしまうのではなく、ぜひ、一度立ち止まり、深呼吸をして、やるべきこと、やりたいことにもう一度自分で優先順位を付け、メリハリをつけた生活を過ごして行ってほしいと思います。

新年度、元気な姿で会いましょう。

終わります。